

仙台市の復興事業の進捗状況

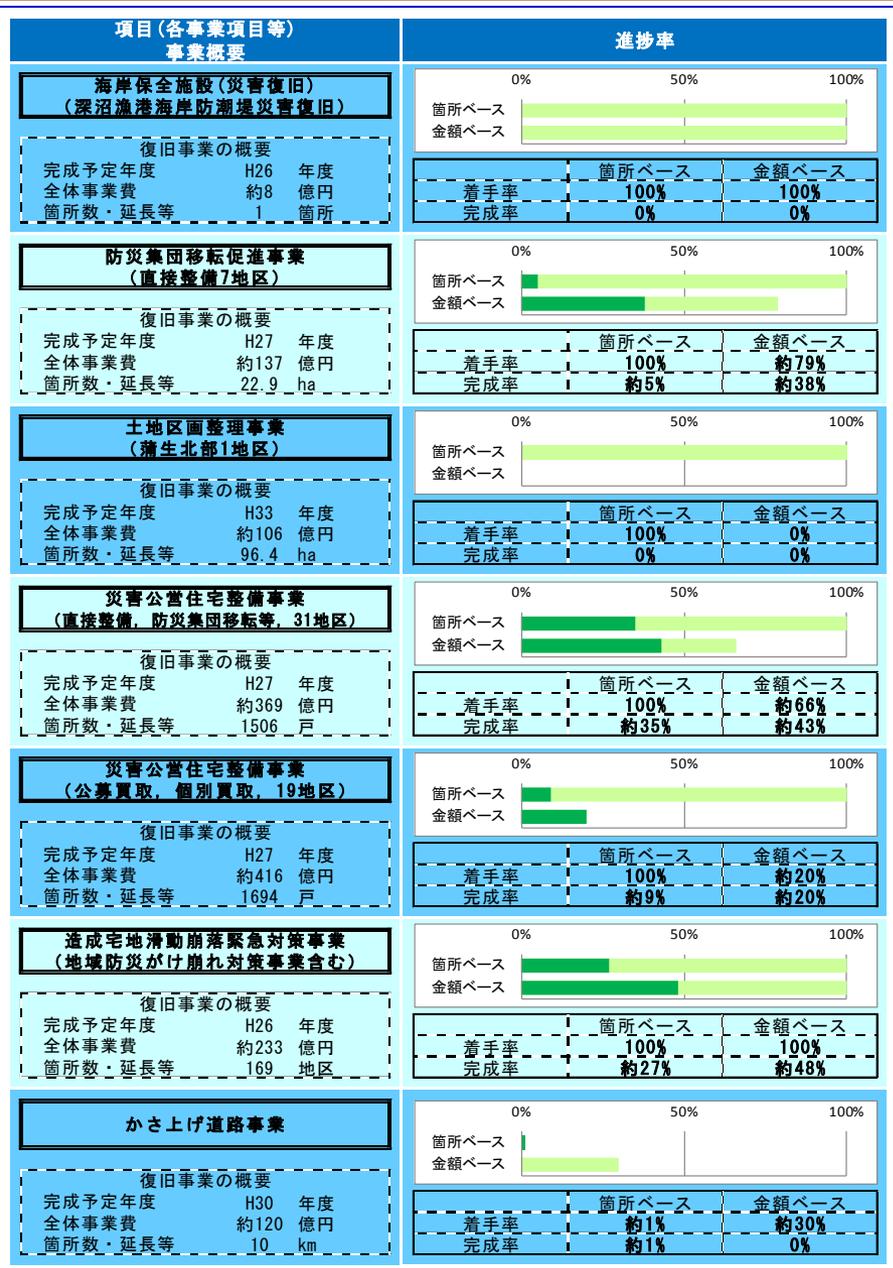
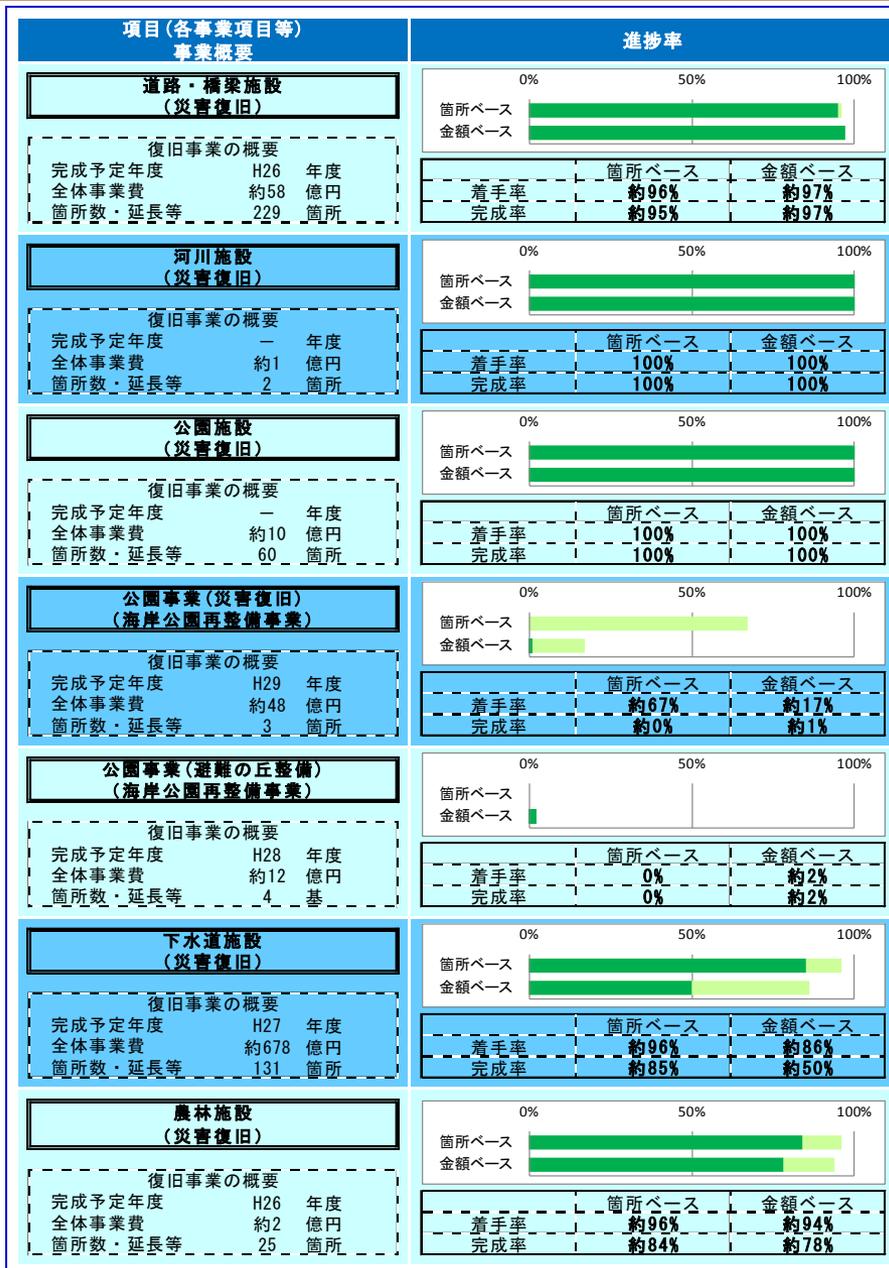
目次

- 復旧・復興事業の進捗状況・・・・・・・・P 1
- 入札不調等の発生状況と対応・・・・・・・・P 2
- 施工確保対策の取組み・・・・・・・・P 3
- 復興まちづくり等の進捗状況・・・・・・・・P 4



1. 復旧・復興事業の進捗状況

平成26年8月末現在



2. 入札不調等の発生状況と対応

□平成25年度発注工事

注) 随意契約を除く、全工種を対象として集計

開札件数 1,042件、不調等件数 314件 ⇒ 入札不調等発生率:30%

□平成26年度発注工事(※H26.8末時点)

開札件数 353件、不調等件数 75件 ⇒ 入札不調等発生率:21%

(主な不調工事の内容:橋梁補修・耐震補強、手間の係る少額工事や構造物工事)



入札不調等が発生した場合、地域要件の拡大や更なるロットの大型化による、参加条件などの変更、指名競争や随意契約に移行するなど入札方式の見直しを実施



●再発注など、繰り返し発注の結果、

注) 随意契約を含む、全工種を対象として集計

□平成25年度発注工事(実工事件数:914件)

平成26年 3月末時点では、実未契約件数:75件で、実不調率: 8.2%

平成26年 8月末時点では、実未契約件数:48件で、実不調率: 5.3%

□平成26年度発注工事(実工事件数:358件)

平成26年 8月末時点では、実未契約件数:39件で、実不調率:10.9%

再発注により、着実に契約を進めており、大きな影響は出ていない。

3. 施工確保対策の取組み

<技術者・労働者の確保>

○復興JV制度の導入

○現場代理人の常駐義務緩和

○主任技術者の兼務の明確化

○技術者の施工実績要件、配置要件の緩和

○発注ロットの大型化

○労働者確保に要する宿泊費の実績変更

○労働者宿舍設置に要する費用の積上げ

○労務単価の適時適切な見直し

<予定価格の適切な算定>

○契約時点における設計単価の変更

○スライド条項の適切な運用

○遠隔地からの資材調達に伴う実績変更

○土砂等の取引実績に応じた積算

○復興歩掛・復興係数の適用

○労務単価の適時適切な見直し(再掲)

<現状と今後の対応>

【現状】 ○平成26年8月末時点の**入札不調等発生率は21%**と前年同期(20%)と**同水準**

○復興公営住宅などの新築工事では、入札不調等は発生していない。

【対応】 ○建設業会団体との**意見交換、ヒアリング**などによる**不調原因の分析**

○国や被災三県、関係業界団体と密接な連携のもと対策の検討、実施

4. 復興まちづくり等の進捗状況

<防災集団移転の整備状況>

- 移転先13地区(直接整備:7地区、土地区画整理:6地区)
- 施工中の区画整理組合の保留地を除き、全ての用地を契約済(未取得の保留地は買取合意済)
- 移転先13地区全て、平成26年度内の造成完了予定
- 造成工事の施工にあたっては、複数の地区を一つの工事として括り発注ロットの大型化を図った。

<復興公営住宅の整備状況>

- 50地区、約3,200戸整備(うち、19地区、約1,700戸は公募買取、個別買取)
- 平成26年3月末時点で576戸(18%)完成済、来年3月末には、2,695戸(84%)完成予定
- 戸建住宅の整備にあたっては、デザインビルド方式を採用し、業務の効率化を図った。

<蒲生北部復興区画整理の状況>

- 平成26年4月1日、事業計画決定の公告
- 施行面積:約96.4ha、施行期間:平成26年4月1日～平成34年3月31日
- 事業の施行にあたっては、包括委託業務方式を採用し、業務の効率化を図った。



復興まちづくり等は概ね、順調に進んでいる。

5. 防災集団移転促進事業

平成26年9月1日現在

◆ 13地区627宅地が決定済(うち167宅地が契約済)

土地区画整理地内6団地

地区	宅地申込受付	宅地決定数	契約数
荒井公共区画整理地区	公開募集受付H25. 6/12～(先着順)	45宅地	44宅地
仙台港背後地住宅地区	受付終了	25宅地	24宅地
田子西地区	公開募集受付H25. 11/28～(先着順)	50宅地	45宅地
荒井東地区	公開募集受付H26. 1/30～(先着順)	44宅地	39宅地
荒井西地区	平成26年度末(造成完了時期)	169宅地	—
荒井南地区		12宅地	

本市施行区域7団地

地区	宅地造成完了時期	宅地決定数	契約数
蒲生雑子袋地区	平成25年6月20日	5宅地	5宅地
石場地区	平成26年6月30日	11宅地	10宅地
六郷地区	平成26年度末	36宅地	—
七郷地区		25宅地	
田子西隣接地区		119宅地	
上岡田地区		56宅地	
南福室地区		30宅地	



田子西地区で進む住宅建設の様子(H26.3撮影)



荒井東地区(H26.7撮影)



宅地の引渡しが始まった石場地区(H26.7撮影)

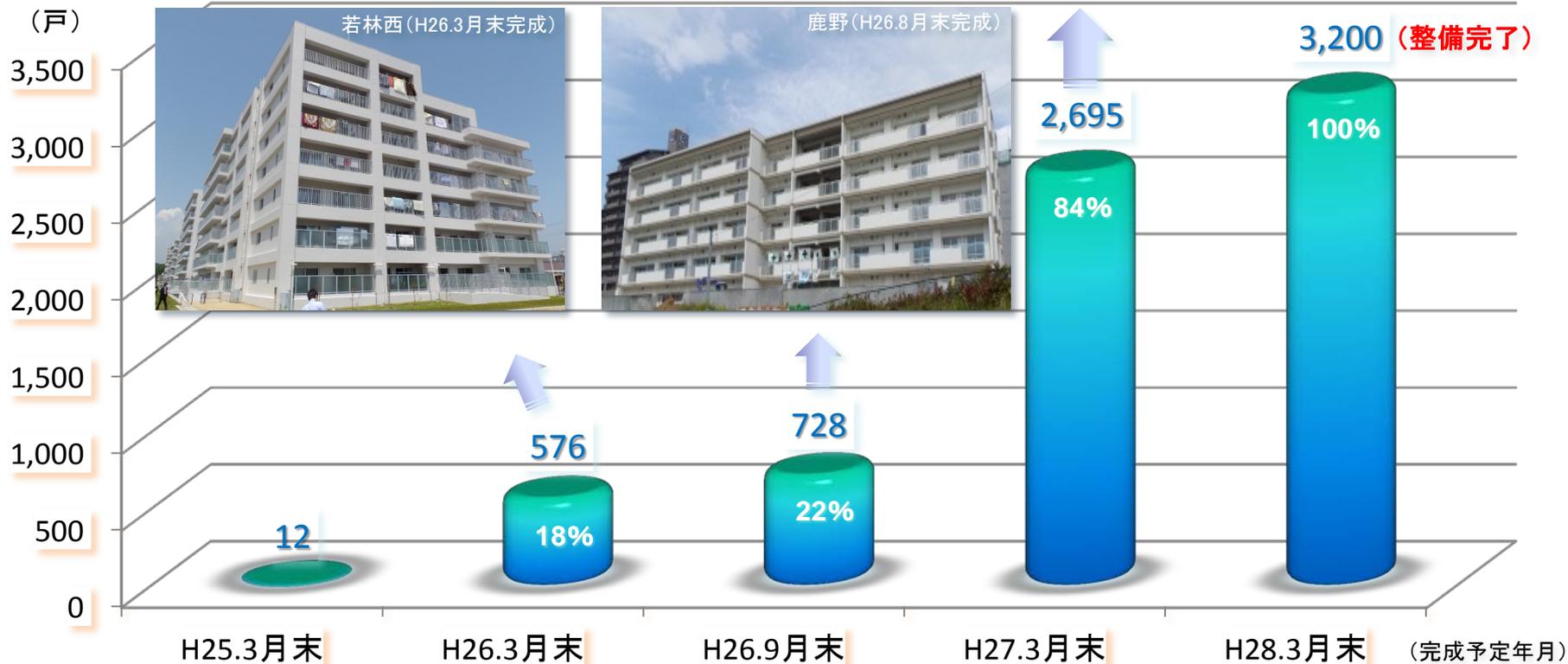
6. 復興公営住宅の整備

仙台市による直接整備と、公募買取事業による整備等により、平成28年3月までの完成を目指します。

六丁の目西町(H27.3月末完成予定)



泉中央南(H27.3月末完成予定)



7. 蒲生北部地区の復興土地区画整理



蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業・整備計画図



復興土地区画整理事業の概要

名称	仙塩広域都市計画事業 仙台市蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業
施行者	仙台市
施行面積	約 96.4 ha
施行期間	平成26年4月1日～平成34年3月31日

復興土地区画整理事業の整備方針

- 西側に私有地を集約し、先行的に整備する。東側は市有地を集約する。
- 再開している事業所が多い区域は、可能な限り移転対象建物が少なくなるよう配慮する。
- 土地利用の向上と避難ルートの確保を図るため、地区中央部を東西に貫く地区内幹線道路を整備する。
- 地区東端部は貞山堀遺構の保存と干潟の自然環境に配慮した緑地を整備する。

【凡例】	
	施行地区
	幹線道路
	準幹線道路
	区画道路
	歩行者専用道路
	公園
	緑地
	調整池